

2023(令和5)年度 第3連区青年布教使研修会開催要項

1. テーマ 「伝える伝道」から「伝わる伝道」へ

2. サブテーマ 葬送儀礼における僧侶介在の意義ー特に法話を中心としてー

3. 開催趣旨 今、僧侶は自信を失っているのではないかー

コロナ禍により葬送儀礼の現場では簡略化の波が押し寄せています。通夜の無い一日葬や直葬など新しい形態で執り行われることが急速に広がって、僧侶が介在することの必要性そのものが疑問視されるようになってきました。「社会状況の変化」が与える葬儀への影響に対して、僧侶・布教使としてどのように対応すべきかを検討し、学びを深めたいと思います。

この度はサブテーマを「葬送儀礼における僧侶介在の意義ー特に法話を中心としてー」と掲げ、ご講師に大谷大学真宗総合研究所の磯部美紀先生、龍谷大学准教授の井上見淳先生をお招きして、変化の著しい現代社会において、様々な視点からの調査・分析により葬儀に僧侶が介在する意義を見出し、特に法話の重要性を明確にいたします。

一連の葬送儀礼の場は、宗教が社会に関わる重要な接点です。その場において、法話の持つ役割は決して小さくはありません。個々の価値基準が重要視される昨今、大衆へ向けた伝道というだけでなく、個人それぞれの悩みや考えに対応できることが求められているのではないのでしょうか。

この度の研修会では葬送儀礼を含めた伝道の場において、一人ひとりへと「伝わる伝道」の軸を学ぶ機会といたします。

4. 期 日 2024(令和6)年2月13日(火)

5. 参加方法 YouTube ライブ配信をご視聴ください。

※お知らせいただきましたメールアドレスに限定公開 URL を送信いたします。当日ご視聴いただけない場合であっても2週間程度の配信期間を設けます。

6. 講 師 同朋研修 岩本孝樹 先生(布教団連合同朋研修講師)
講題：『み教えと差別の現実』差別表現 女人往生

研 修 I 磯部美紀 先生
(大谷大学真宗総合研究所東京分室 PD 研究員)
講題：「僧侶役割の揺らぎと法話の可能性」

研 修 II 井上見淳 先生
(龍谷大学准教授・本願寺派司教)
講題：「小児の往生をどう考えるかー先哲の苦悩にたずねるー」

7. 参 加 費 無料
※第3連区外の聴講希望者は YouTube ライブ配信をご視聴
いただきますが、講師への質問が行えませんので参加費
はいただきません。

8. 日 程 11:00 開会式
11:30 同朋研修(60分) 講師：岩本孝樹 先生
13:15 研 修 I(60分) 講師：磯部美紀 先生
14:30 研 修 II(60分) 講師：井上見淳 先生
15:50 対談・質疑応答(60分) 講師：磯部美紀 先生・井上見淳 先生
17:00 閉会式

9. 申込方法 右記の QR コードを読込んでいただき、
必要事項をご入力の上お申込みください。
締切：2024(令和6)年1月20日(土)



10. 特記事項 限定公開 URL の送信メールに当日資料を添付してお送りいた
たします。

11. 問い合わせ 兵庫教区布教団事務局(担当：森)
〒650-0011 神戸市中央区下山手通8丁目1番1号
TEL078-341-5949 FAX078-340-8526
Mail h.mori@modan-t.or-jp

以 上